

△注意事項:

本マニュアルの内容を無断で変更・修正することはできません。当社は、技術、部品、ソフトウェア、ハードウェアの変更、修正に関する権利を保持します。製品に関する詳細な情報については、販売店にお問い合わせください。本マニュアルのいかなる記事やセクションも、許可なく複製や発行することはできません。

サーマルレシートプリンタ ユーザーマニュアル

このユーザーマニュアルは大切に保管してください



注意

- 安定した場所にプリンタを置いてください。振動を避けるために、硬く水平な場所を選んでください。
- 高温多湿、または極端に汚い場所でプリンタを使用したり、保管しないでください。
- 電源アダプタを接地されたコンセントに正しく接続します。電力の変動につながる可能性のある大きな電力消費デバイスで同じソケットを使用しないでください。
- » 水や他のオブジェクトがプリンタに入らないようにしてください。一度起こったら、すぐにプリンタの電源を切ってください。
- ロール紙なしで印刷すると、印刷ヘッドに深刻な損傷を与えることになります。
- 長い間使用しない場合は、電源コンセントからプリンタのプラグを抜いてください。
- 認証済みの付属品のみを使用し、決して分解、修理または改造をしないで下さい。
- 標準の電源アダプタを使用してください。
- 高品質のロール紙を使用している場合、プリンタの印刷品質と寿命を保証します。
- 各種プラグを抜く前に電源を必ず切ってください。
- プリンタは高度5000メートル以下でのみ動作可能です。

ご利用用途例

- POSシステム
- EFT POSシステム（決済システム）
- ジム、ポスト、民間航空システム
- お問い合わせ、サービスシステム
- 器械テスト
- 税金

内容物

プリンタ & 付属品	
ユーザーマニュアル	1個
プリンタ	1個
電源ケーブル	1個
アダプタ（24V）	1セット
ロール紙	1ロール
ドライバ	1個

特徴

- 260mm/s。300mm/sの高速印刷。
- キッチン、ネットワーク印刷をサポート。
- 80-120mm の大きなレシート紙容量。
- 高速テキストおよびグラフィック印刷、優秀な印刷の質および信頼できる性能。
- プリンタの状態の監視機能をサポート、制御プリンタの状態を常に監視。
- 注文の見落としを回避。
- レシートアラームと、エラーアラーム
- ドライバー高速ダウンロード印刷モード、Linux システムをサポート。
- ブラックマークの検出およびオーバータイプ機能をサポート。
- 256KB NV のロゴのダウンロードおよび店舗での印刷をサポート。
- シリアル接続 + USB接続 + LAN インターフェイス接続
- メカニズムおよびプリンタの持続性能。100kmの印刷および1億回のカッター寿命。
- QRコード、PDF417印刷をサポート
- 中国語GB18030をサポート
- 国際的な複数の言語はオプションである場合もありますが、簡体字/繁体字中国語はコマンドで変換可能です。
- Internet Exploreからプリンタを直接設定可能。
- 58MM/80MM のペーパー ロールはオプションの場合があります。

受注ミス削減



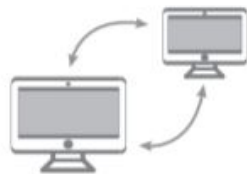
高速印刷



ID認証



ネットワーク印刷



OPOSドライバーサポート



複数言語をサポート

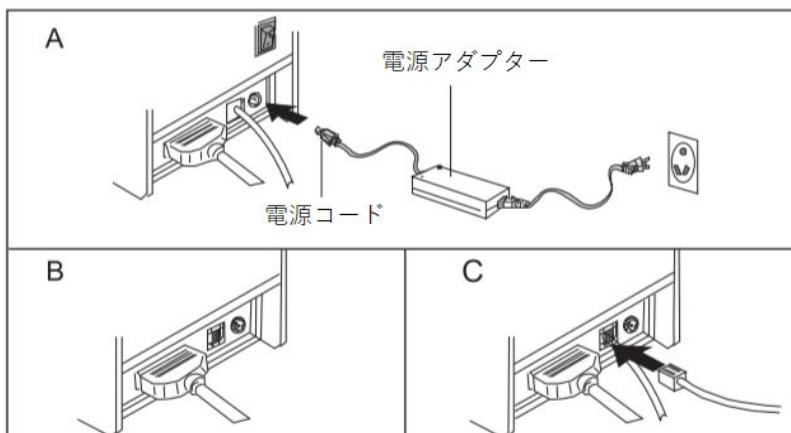


仕様

印刷方法	ダイレクトサーマル
印刷速度	260mm/s, 300mm/s
ブラックマーク検出	サポート
ネットワーク監視	サポート
ロール紙	79.5±0.5mm
コラム容量	576ドット/ラインまたは 512ドット/ライン
文字サイズ	ANK, フォントA: 12×24ドット フォントB: 9×17ドット 簡体/繁体中国語: 24×24ドット
コマンド	ESC/POS対応
インターフェース (オプション)	シリアル+USB+LAN、USB+パラレル
オートカッター	一部
信頼性	印刷ヘッド寿命: 100km
バーコード	UPC-A!UPC-EUAN 3(EAN 3)!JANS(EANS)! CODE39. "ITF:"CODABAR""CODE93ICODE 28
オートカッター	全部または一部
2次元バーコード	QRコード PDF417
NVフラッシュ	256KB
投入バッファ	2048KB
紙の厚さ	0.06-0.08mm
アダプタ入力電圧	AC 110V/220V、50-60Hz
電源	DC24V=2.5A
プリンタ入力電圧	DC24V=2.5A
キャッシュドロー制御	DC24V=2.5A
動作環境	温度(0~45°C)、湿度(10~80%)
保管環境	温度 (-10°C~60°C)、湿度 (10~90%)
ドライバー	Win 9X/Win 2000/Win 2003/Win XP/Win 7/Win 8/Win 10/Linux

接続方法

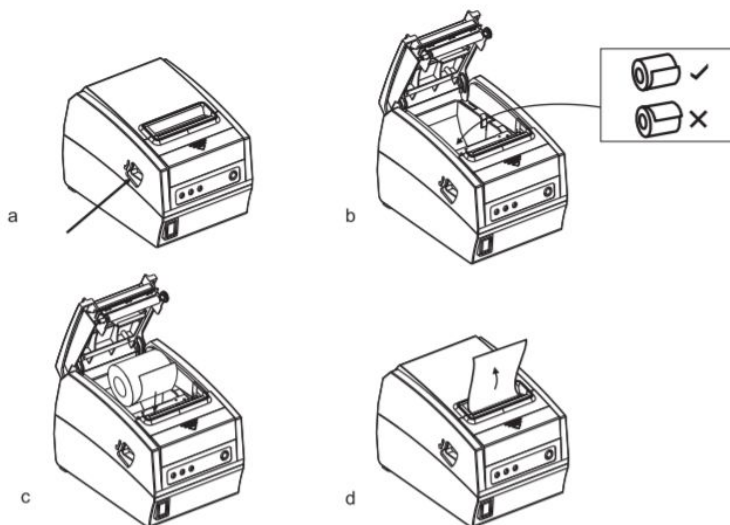
- A. AC電源コードを電源に、DC電源コードをプリンタに接続します。
- B. プリンタとコンピュータ/タブレットを接続します。
- C. キャッシュドローワーを接続してください。

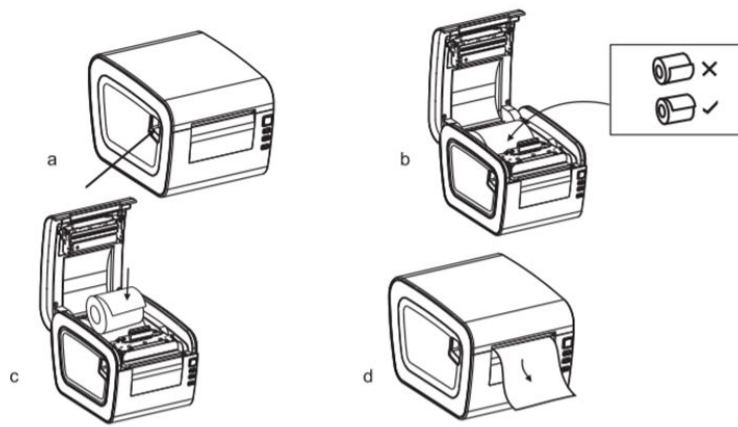


ロール紙の装着

80mmシリーズのプリンタにおすすめの80mm感熱紙ロールです
用紙の装着方法は以下の通りです

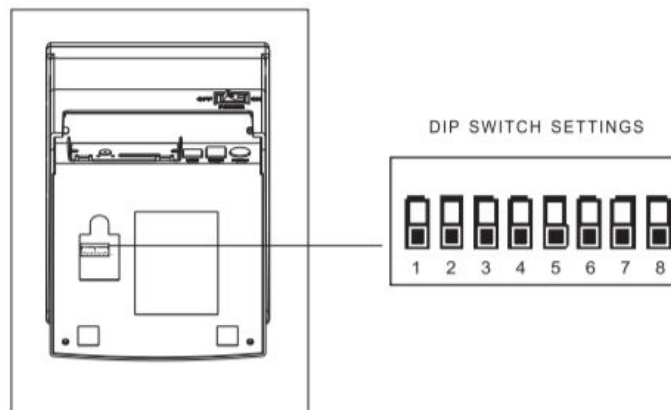
- A. トップカバーを開きます
- B. ロール紙を下記のようにロール紙スペースに投入します
- C. 紙をペーパーホルダーに引き込み、トップカバーを閉じます
- D. 用紙が正しく取り付けられていることを確認するために、セルフテストを印刷します





印刷モードの設定(DIPスイッチ)

DIPスイッチは、マークセンサー、カッター、言語、ブザー、印刷濃度ポーレートなどの設定を変更することができます。



DIP変換機能

DIP機能					
No	機能	ON	OFF		
SW-1	カッターを選択	NO	YES		
SW-2	ブザーを選択	YES	NO		
SW-3	印刷濃度の設定	NO	YES		
SW-4	2バイト文字コード	NO	YES		
SW-5	1行あたりの文字数	42	48		
SW-6	カッターとキャッシュドロー	YES	NO		
SW-7		ON	OFF	ON	OFF
SW-8		ON	ON	OFF	OFF
伝達速度 (bps) - bit/s		38400	115200	9600	19200

DIPスイッチ機能（数機種のみ）

DIP機能			
No	機能	ON	OFF
SW-1	カッターを選択	NO	YES
SW-2	ブザーを選択	YES	NO
SW-3	58mm	YES	NO
SW-4	2バイト文字コード	NO	YES
SW-5	1行あたりの文字数	42	48
SW-6	カッターとキャッシュドロワー	YES	NO

SW-3	OFF	OFF	ON	ON
SW-5	OFF	ON	OFF	ON
一行あたりの文字数	48/64CPL	42/56CPL	32/42CPL	32/42CPL

SW-7	ON	OFF	ON	OFF
SW-8	ON	ON	OFF	OFF
伝達速度 (bps) - bit/s	38400	115200	9600	19200

ボタン名、インジケータLEDライトと機能

- 1) **FEEDボタン**
手動で用紙を投入しボタンを押します。
- 2) **用紙のインジケータ（LEDライト）**
青および赤のランプは用紙に関する警告を表し、警報が鳴ら無ければ問題ありません。
- 3) **電源のインジケータ**
ライトが点灯しているのは、正しく接続されていることを意味しています。
- 4) **エラーボタン**
用紙切れ、カッターエラー、印刷ヘッドのオーバーヒートが発生した場合は、ALARMインジケータが点滅します。

セルフテスト

手順：プリンタが電源に接続されている場合は、電源をオフにし、同時に「FEED」ボタンを長押しし、2秒後に放します。完了したセルフテストはプリンタの設定を示すために印刷されます。

16進数モードに入る方法

手順：プリンタが電源に接続されている場合は、電源をオフにし、「FEED」ボタンを押しながら同時に電源を入れ、約10秒後に「FEED」ボタンを放し、HEX(16進)ダンプモードに入ります。「Hexadecimal Dump」が用紙に印刷されます。

リセット

手順：プリンタが電源に接続されている場合は、約20秒間「FEED」ボタンを押しながら電源を入れ、リセットに成功するとブザーが鳴ります。

QRコード機能

1、QRコード：ユニットサイズを設定

[コマンドコード]

ASCII: GS (0 g n

10進数：29 40 107 48 103 n

16進数：1D 28 6B 30 67 n

機能説明：QRコードの単位サイズを「n」に設定します。

パラメータ範囲：1 ≤ n ≤ 16

デフォルト n = 3

注) Nドット=単位幅=単位高さ

プリンタの電源を切ってリセットすると、ESC @ コマンドの設定に失敗します。

2、QRコード：エラー訂正グレードの設定

[コマンドコード]

ASCII: GS (0 i n

10進数：29 40 107 48 105 n

16進数：1D 28 6B 30 69 n

3、機能説明：QRコードのエラー訂正グレードを設定します。
パラメータ「N」の意味は以下の通りです：

n	インストラクション	正しい割合 (%)
48	Grade L	7
49	Grade M	15
50	Grade Q	25
51	Grade H	30

48 ≤ n ≤ 51 パラメータ範囲：

n = 48 デフォルト：

注) QRコードはRSアルゴリズムを使用してエラー訂正コードを生成し、コマンド設定はプリンタがリセットされ、電源がオフになったときに無効になります。

QRコード：コードキャッシュへのデータ転送

[コマンドコード]

ASCII: GS (0 nL nH d1...dk)

10進数：29 40 107 48 103 nL nH d1...dk

16進数: 1D 28 6B 30 80 nL nH d1...dk

機能説明：コードキャッシュへの QR コードデータ送信を設定します。

パラメータ範囲：4 ≤ (nL + nH x 256) ≤ 2710

32 ≤ d ≤ 255

デフォルト：なし

注) 受信後、データはリセットされるまで保持されます。

K バイト d1...dk はコード化されたデータとしてみなされます。

D1...dkは以下のデータしか含むことができません。

文字シート	以下に表示された文字
図	“0” ~ “9”
文字	“0” ~ “9”, “A” ~ “Z”, SP, \$, %, *, +, -, ., , ;
漢字	GB18030-2000, Shift-JIS, JISX0208 Standard
8ビットデータ	00H~FFH

プリンタの電源をオフにしてリセットすると、ESC @コマンドのセットアップに失敗します。

QRコード：コードキャッシュのQRコードを印刷する

【コマンドコード】

ASCII：GS (0?)

10進数：29 40 107 48 129

16進数：1D 28 6B 30 81

機能説明：QRコードのコードキャッシュの解読データの印刷をします。

パラメータ範囲：なし

デフォルト：なし

注) QRコードのサイズが印刷領域を超える場合、印刷はキャンセルされます。

コードキャッシュデータが空の場合、印刷はキャンセルされます。


カッターが詰まった時のメンテナンス

手順(1)

電源を切ってから再起動してください。

手順(2)

印刷ヘッドのギアを回して、カッターを元の位置に戻してください。

 注意) 印刷ヘッドと自動ペーパーカッターの損傷を避けるために、強引にカッターと機械を開かないでください。

USBポートと仮想コンポート交換コマンドセット

コマンドコード

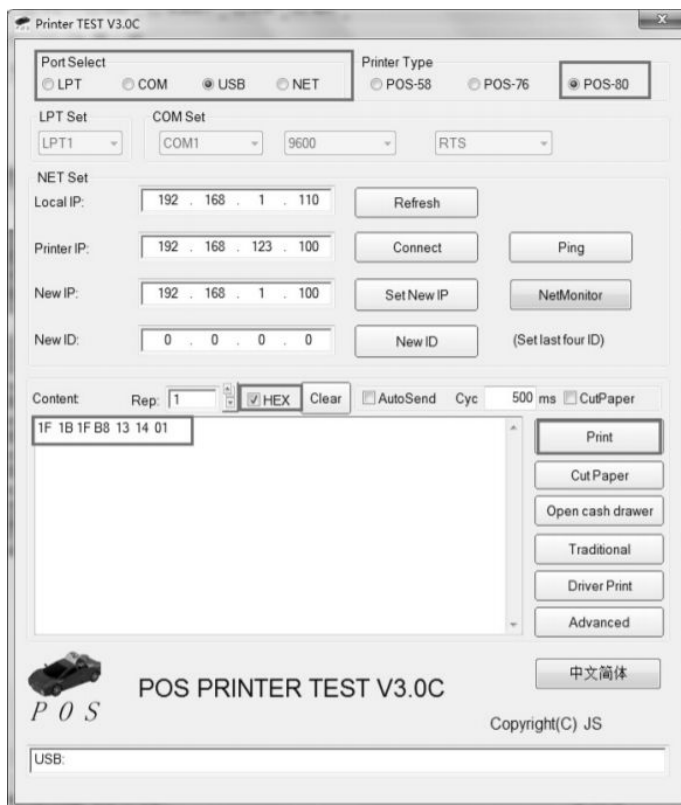
10進数 : 31 27 31 184 19 20 N

16進数 : 1F 1B 1F B8 13 14 N

説明 : 上記のコマンドセットにより、実際のUSBポートと仮想COMポートを交換できます。

範囲 : N = 0 USB; N = 1仮想COMポート。

下の図に示す（それに応じてプリンタを接続する必要があります）。



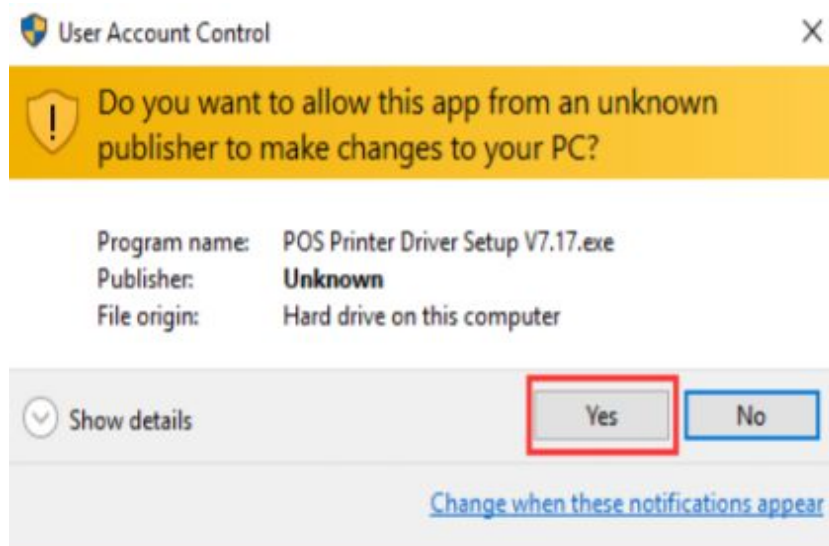
ドライバのインストール

2つの方法があります : 1) 直接ドライバをインストールする。
2) ポート経由で直接インストールする。

1) WINDOWS OSでドライバーをインストールする方法（ステップは以下の通り） :

1. ドライバ  をダブルクリックする。

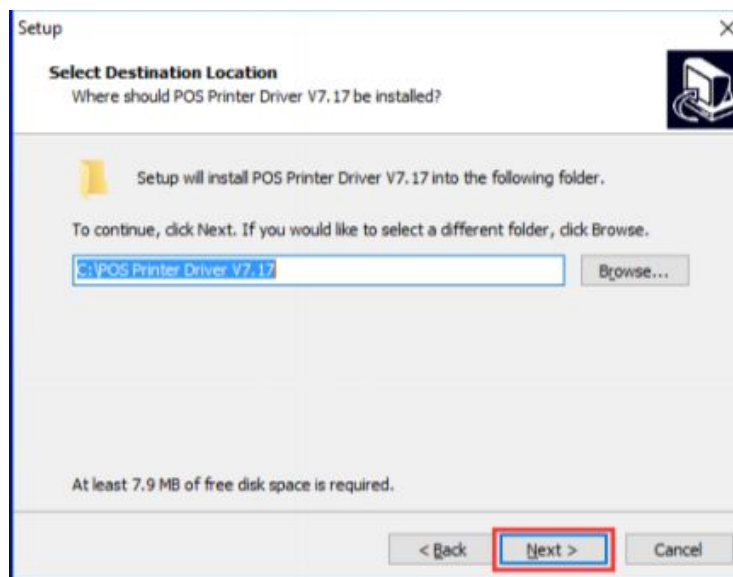




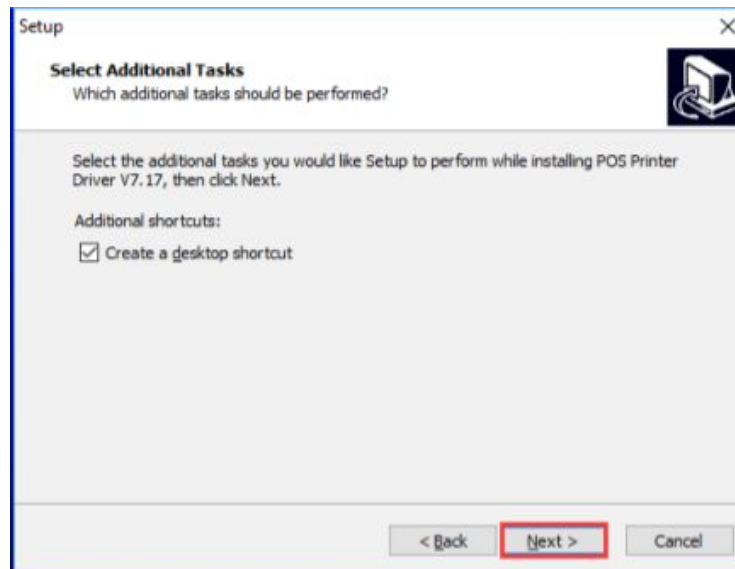
2. 「同意する」をクリックする。



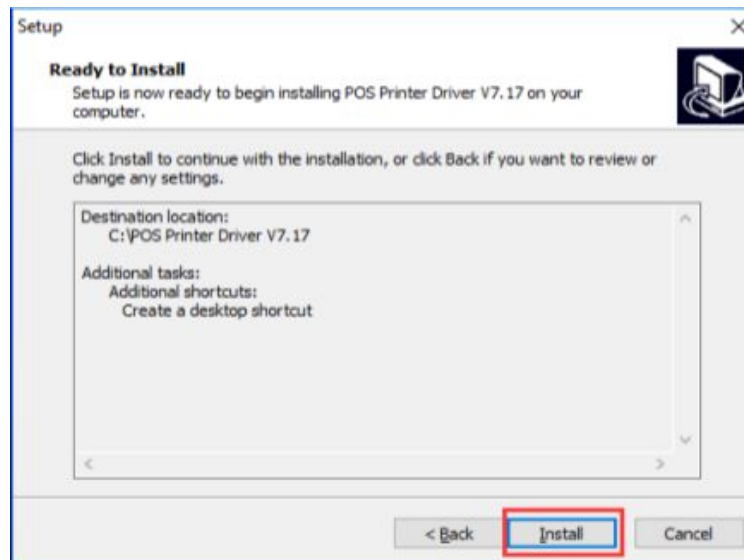
3. デフォルトの場所にインストールする。



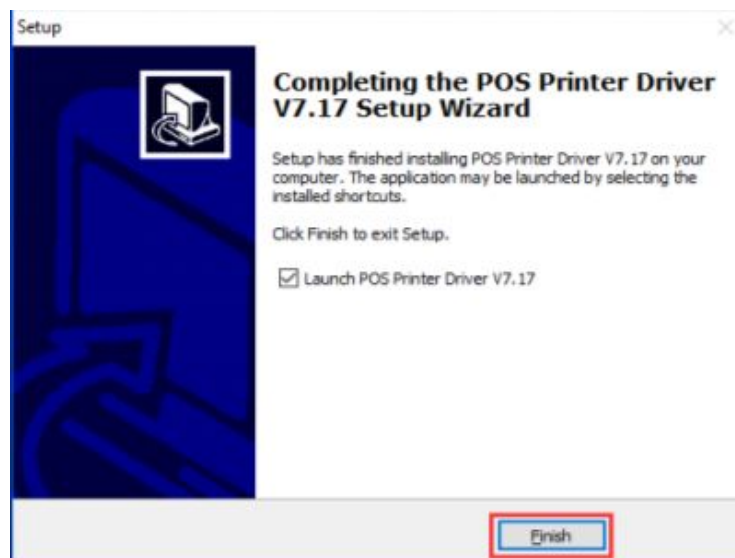
4. デスクトップにショートカットを作成する。



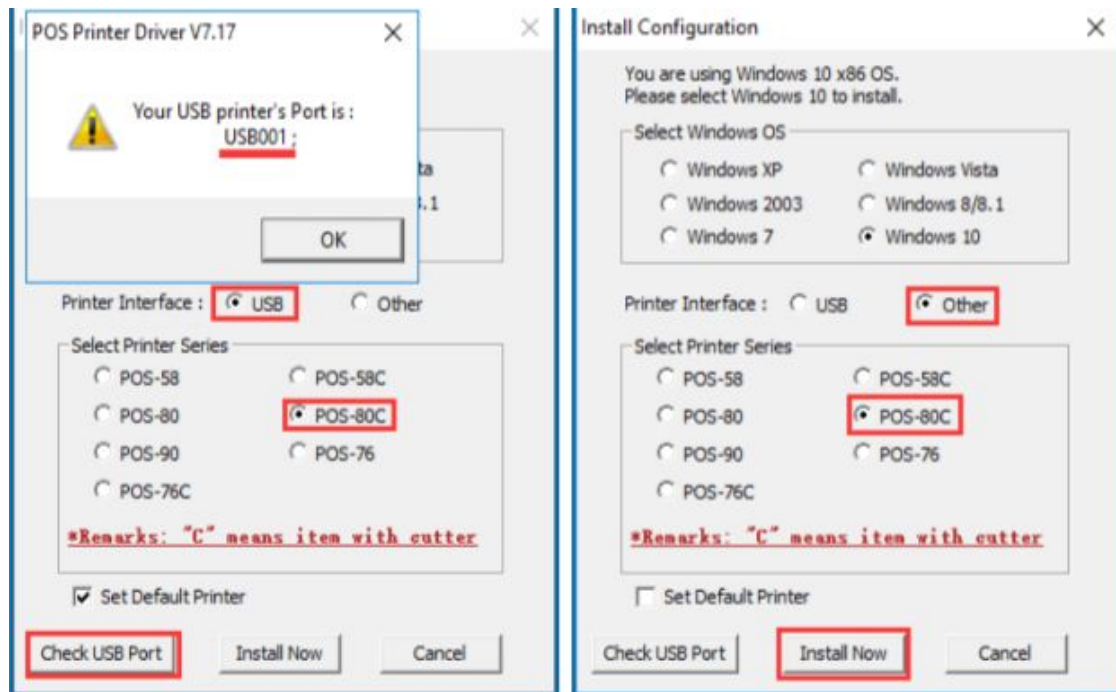
5. 流れに沿ってインストール :



6. 完了

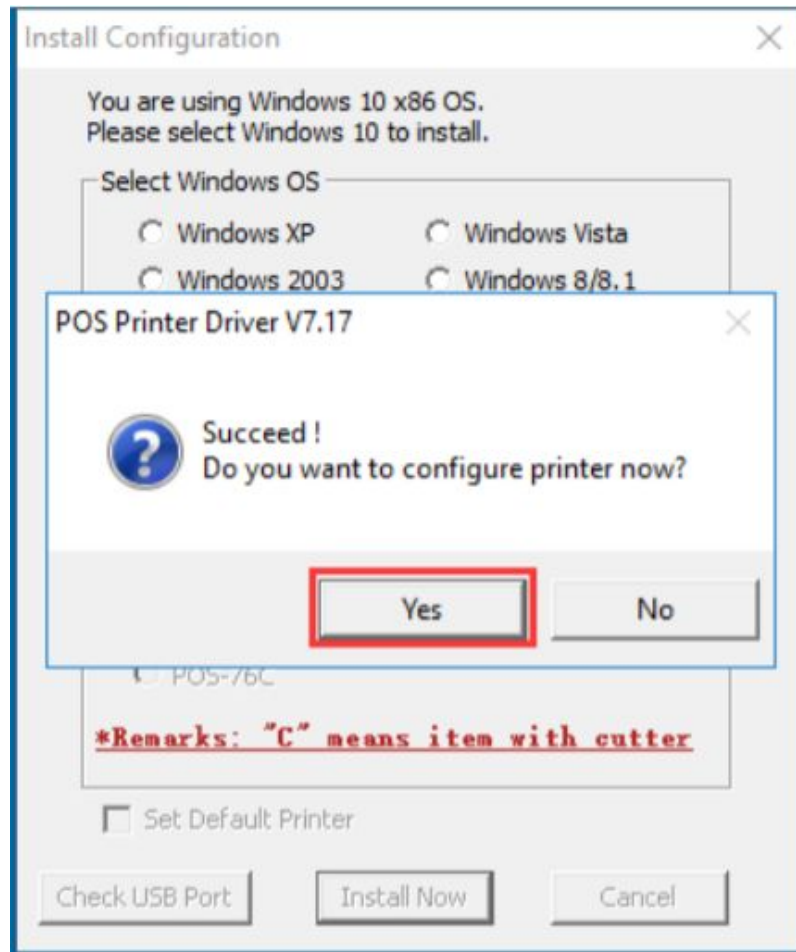


7. 下の画像のように、正しいポート番号を選択してください：

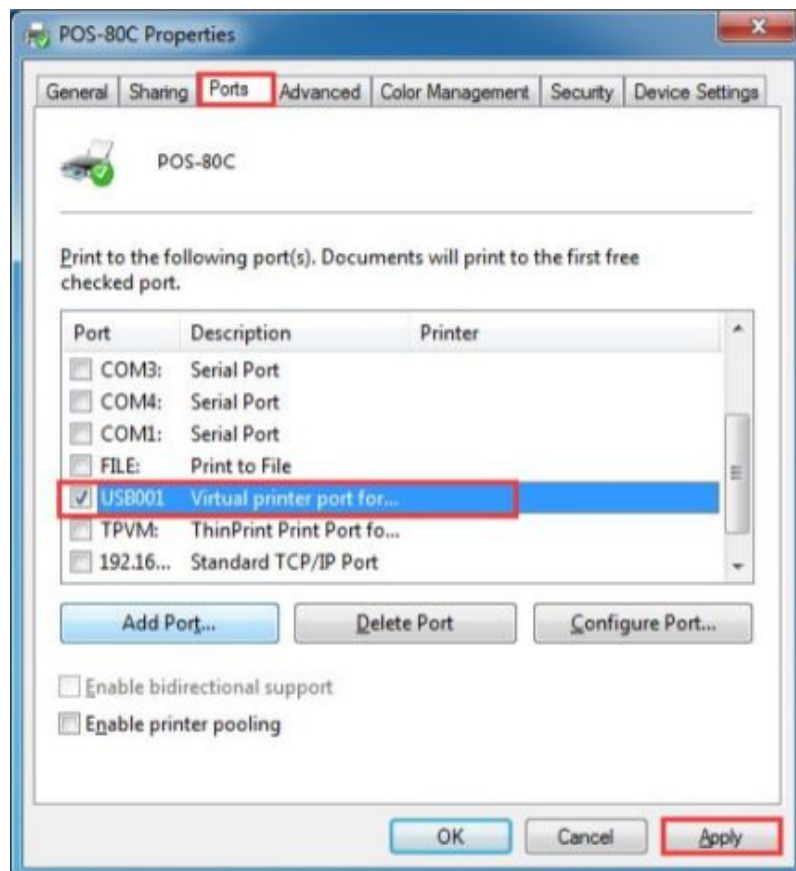


8. 下の画像のように、正しいシリアル番号を選択してください：

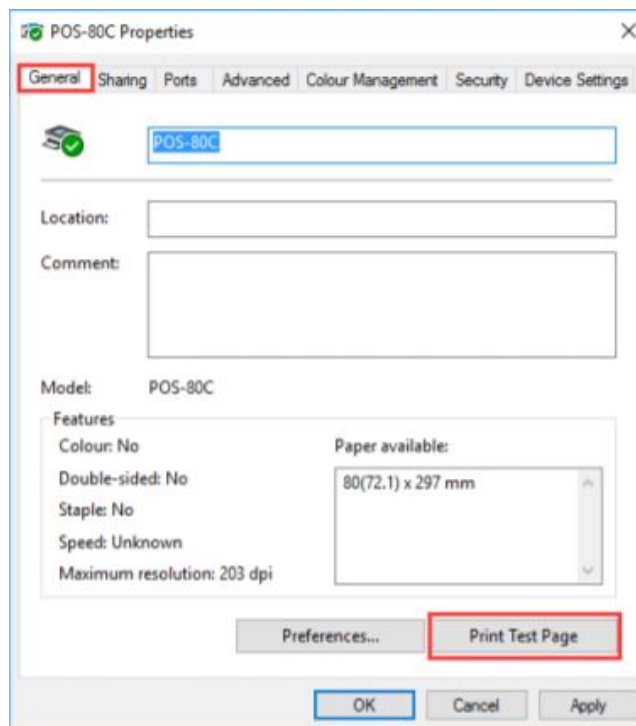
9. 「OK」をクリックしてポート番号を設定してください



10. 下の画像のように、検出されたUSB001をクリックして「適用」します：



11. 一般設定に移動し、テストプリントをします。



2) 直接ポートから印刷

- a. プリンタドライバをインストールする必要はありません。直接ソフトウェアの中から正しいポートを選択（例：USB, LAN, シリアル, パラレル）。
- b. ポート経由の印刷は、プリンタを制御するためのコマンドが必要ですが、ESC/POSコマンドは直接組み込まれています。

クリアランス

以下のいずれかが発生した場合は、印刷ヘッドを清掃してください。

- (1) 文がはっきりと印刷されない
- (2) 縦列が明確でない
- (3) 給紙音がうるさい

印刷ヘッドのクリーニング手順

- (1) プリンタの電源を切り、電源コードを外します。上のカバーを開けて、ペーパーロールを取り出して下さい。
- (2) 印刷ヘッドの冷却が終了するまでお待ちください。
- (3) アルコール（水なし）が付いている綿棒を使用して、印刷ヘッドを完全にきれいにして下さい。
- (4) アルコールが完全に乾いたら上カバーを閉めて下さい。
- (5) 電源を再度接続してテストし、きれいに印刷できているかを確認して下さい。

△ 注意：

- (1) プリンタを補修する際は必ず電源を切って行って下さい。
- (2) 印刷ヘッドの表面、ローラー、センサーなどに触れたり、傷を付けないで下さい。
- (3) ガス、アセトンや有機溶剤などは使用を避けて下さい。
- (4) アルコールが完全に蒸発するまで待ち、カバーを閉め、電源に接続して下さい。セルフテストを行って、正しく機能しているか確認して下さい。